

琉球大学学術リポジトリ

アメリカ婦人に学ぶ

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 翁長, 君代, Onaga, Kimiyo メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/19734

アメリカ婦人に学ぶ

アメリカのミシガン大学に一年間留学をする機会を得ましてその間に多勢のアメリカ婦人と交際をさせて頂いて、非常に沢山の事を学ぶ事の出来ました事を喜んで居ります。

私は特に農家の方々の生活を見せて頂く事を希望しました。そして私の見せて頂いたり、泊めて頂いたお家は模範的な家庭で

もあったのですが、それぞれに特長をもつた良い家庭でありました。それぞれの特長を申し上げますのは、アメリカでは決して他人の真似をするというのをいたしません。自分の家族の個性や趣味に合わせて家庭を建設いたします。東洋の家庭のように、こうしないと他人に笑われるとか、又は恥しいとかいう物の考え方は絶対ないたし

ません。家族の幸福のためにどうしたら良い生活をする事が出来るか、と主婦は考えず考えているようです。少しでも家庭の幸福を助けるのに役立つ催しもの例えば料理の講習とか、十代の子供の心理についてのお話合い等には多勢の母親達が来ます。どの家庭でも見られる美しさはお互の人格を尊重し合ってお互に協力しよい民主家庭を作ることに努力していることです。

アメリカの農家の主婦の一日は私共と同じように非常に忙しいものです。この忙しい仕事を上手に手順よく、合理的に運んで居られる様子を見えます時、い

アメリカの農家を訪問する筆者（左）とペベル夫妻と息子
ペベル家の台所にて

つも私は「沖繩に帰ったら私もあんなにして見よう」と考えたものでした。よく働ける一つの条件としての服装を注意して見えますと、働く時にはどんなによれても洗濯が出来るもので、しかも丈夫なもの、そして身体を自由に動かすことの出来るものを用いています。私がミセス・ペバルの御家に泊めて頂いた時、この奥さんがまるで男のような服装で（御主人のスポンをはいて御主人の古い冬の下着用のシャツをブラウスの上から着て、防寒帽をかぶっていました）私の部屋に来てあなたがもし牛小屋に興味をお持ちでしたら私と一緒に牛小屋にまいりましょう」とおさそいをうけました。彼女はこれから牛小屋で働いて居られる御主人の助手として牛の乳をしぼる仕事に出かけるどころなのです。私は喜んで一緒に出かけました。住宅から少し離れたところにある牛小屋で働いて居られる二人の様子を見えますと二人共同じよきな姿ですから、どちらがミセスか、ミスターかわかりません。牛乳をしぼっている間はラジオをかけてそれを聞き乍ら楽しく働いて居られます。牛小屋にまでラジオを持って居られるのは一つは牛乳の出を良くする事にも役立つかもしれませんが、楽しみ乍ら生活するというアメリカ人の生活の仕方の一つの現われでもあると思います。仕事が終わって母屋に戻りますと台所の入口にある更衣所でこれ等のよごれた衣類を交換し、靴もはき替えて手や顔を洗って家に入ります。一般の農家の裏には作業着を着替える所とそれを掛けておく挿入があつて、その近くには洗面所も設けられています。どんなに怠いでも着替着のまま牛小屋に行くようなことはしません、又このような男ものの労働者をつけて働いているところに知合の婦人が訪ねて来られたとしても、決して恥しがるようなことはありません。むしろ非常に誇らしげにさえて居ります。

食生活はどうでしょうか？。農家の食生活ほど恵まれているのではないだろうと思ひました。玉子やミルクを豊富に使った料理を十分に食べています。都会の人よりも良い食事を摂って居

られると思います。然し決して驚愕ではありません。出始めの高価な野営を使うとか遠くから来る珍らしいものを使うようなことはしないで、成るべく出盛りの安いものを選んで買って居ります。アメリカ婦人ほど買物に対して慎重な婦人は他の国では見られないだろうと思うほどです。少しでも安く買って、浮いたお金は貯めておいて、困っている人達のために使うことをこれ又誇りにして居ります。

家庭の調度品等は殆ど農家と部会は同じであります。新しい家庭用品は次から次と、家庭生活改善普及員によって教えて貰うことが出来ますから、大学を卒業していない婦人でも、それ等の知識に恵まれて、いつも向上進歩しつつある様子を大変羨やましく思いました。アメリカの機械化文明によって、時間の余裕と労力の余りを公共のために奉仕する事を又誇りにして居ります。先に書きましたミセス、ペバルは4日クラブのリーダーを永年つづけられ、4日の女の子の裁縫や料理を受持つて居られます。これ等の教養は主として夫人のお家の台所と応接間を利用して居りますが、忙い夫人の生活の中から沢山の時間と努力と場所とを提供することの出来ることを夫人自身も、又家族の人達も非常に喜んで居られるようでした。

去る七月に、全ミシガンの4日クラブの会員がミシガン大学に集って、一週間の宿泊訓練並に大会を持った時、千人余りの会員の集いの司会を、クラブ員の若い女の子が非常に上手に、そして自信たっぷりやりとりける様子を見て、羨やましく思いました。

若い人達の積極的な態度に感心させられるばかりでなく、アメリカの中年以上の婦人が、いつも若々しく生活して居られる事にも大変心を打たれました。

六月の中旬に開かれましたところの家庭婦人のキャンプに私も参加させて頂きました。五〇哩ほど離れたところにあるキャンプに行く途中、私の考えた事は、一週間の間、家庭を空けてこのキャンプに出席する婦人は、きっと子供も無い、それこそ

有閑マダム達で、しかも若い人達ばかりだろうと思つて居りました。然しキャンプに着いて私の予想は裏切られました。二百人近い婦人の中には二十才位の若い夫人から八十才のおばあさんまで、自分の年令を忘れたかの様に若々しく生活して居られましたから。毎日の行事は、朝の健康体操に始まって夜のリラクエーションに終るまで、年寄も若い人もるまで、子供のよろに無邪気に楽しんで居られました。一年一回催されるこのキャンプに出席するために日頃から、家事を整えて出席して居られます。小さい子供を持つて居る人はどんなにして来ているのかしら？と聞いて見ますと、夫が見てくれているという入と、私の夫の母にあずけて来たという人などで、少しの不安な様子も見事出来ません。そして「私は家に帰ってから、夫や子供にこのキャンプで聞いた話を、いろいろ新しい事を語つた事を話してあげるのを楽しみにしています」と語つておりました。

アメリカ婦人の生活は、働く時には一生懸命に働いて、遊ぶときには又よく遊ぶという生活をしているようです。決して取り返し苦勞をして思い悩んだりしません。ですから、いつも若々しく、美しく生活出来るのではないのでしょうか。又こうしたキャンプに集つた時や講演会等を利用して、出来るだけ新しい知識を吸収しようと努めている様子がかががれまして、大変感服されました。

ミシガン大学で私が一番若女学生だろうと思つていましたら二学期になって、私よりも年上の方と同じクラスになりました。その方は孫もある人で、自分は大学も卒業しているが、子供達も成長して家庭の仕事もありませんので、こんど又勉強をしに来ましたといつて一人の子供とアパートに住み、金曜日から月曜日にかけて御主人のところに帰る事になっているといつて、二十才前後の若い学生と机を並べて一生懸命にやつておられました。授業が終つてから先生に質問をするものの方が一番です。学校に勤めているのでなく只の一主婦がこんなに熱心に勉強

をする事は私には羨らしいことに思うと同時に沢山の事を学びとることが出来たと思ひます。

アメリカの主婦の一番の悩みは何か？と質問をしますと、太低の方のお客は「十代の子供の教育」だと申します。思春期にある子供を持つ親の悩みは、今や全世界の母親の課題ではないでしょうか。これを解決するために母親同志で会をもつて、教育者や心理学者等からお話を聞くことを度々やつておられるようですが、こんな時でも話を聞く丈で無く、一人ずつ自分の子供の様子を話して皆さんからの参考意見を求めるように、決してかくし立てなく、心を開いて話して居るのに感心しました。

今、アメリカの人達は東洋、特に日本人の生活に非常に興味をもつて、少しでもこれは良いと思われれることを取り上げようとする気配が見られます。そして良いと思つた事は、どしどし実行に移して行くだけの勇氣と実行力をもつて居る事は私共が学ばなければならぬ点ではないでしょうか。又一年間、アメリカにおります間、これ等のアメリカ婦人から私に寄せて頂いた御親切に知して、心から感謝しております。馴れない異国に來ている若女学生を、如何して喜ばしてあげようかと絶えず心にかけて下さいましたあの方々に、いつの日か御恩返し出が来るかしら？と思つています。然しあの方々はそれに対して何の期待もしないで、困っている人を助けてあげようとする「愛」の精神でやつておられるのだと思います。これは経済的に恵まれている環境にある人達だからこそ出来るのだと思いますけれども、少しでもよいから私共も見習いたいものだとつくづく思ひました。

(翁長君代)